

2008 年度 春季相互協力連絡会（第 34 回）開催要項

日 時 : 2008 年 4 月 25 日（金）13:00~14:00

会 場 : 金沢工業大学 1 号館 1. 110 室

報告事項

1. 出欠状況について

- ・別紙「出席者名簿」参照

2. 2008 年度 相互協力連絡会三協定参加状況について

- ・資料 1 「相互協力連絡会三協定参加状況（2008 年 4 月 25 日現在、グループ別）」参照
加盟館 41 大学 49 図書館
館名変更 「明治鍼灸大学図書館」→「明治国際医療大学附属図書館」

3. 世話人館・委員館のローテーションについて

- ・資料 2 「相互協力連絡会世話人館・委員館のローテーション表」参照

2009 年度は、北陸地区、奈良地区、京都地区 D グループの世話人館と、共通閲覧証協定（京都地区 B グループ）、相互貸借協定（京都地区 C グループ）、資料分担保存協定（京都地区 D グループ）の各委員館が交代となる。秋季相互協力連絡会にて報告できるよう選出を行う。

4. 相互協力利用マニュアルの更新について

- ・資料 3 「相互協力利用マニュアル更新の流れ」参照

2008 年度版について、幹事館より 3 月 17 日更新依頼をし、3 月 28 日締切、内容確認ののち、4 月 18 日にホームページへ掲載した。

5. 資料分担保存リストのホームページへの掲載について

- ・資料 4 「資料分担保存リストのホームページへの掲載について（ご報告）」参照

龍谷大学より更新の申し出があり、資料分担保存リスト修正のうえ、4 月 18 日ホームページへ掲載した。

6. 2007 年度秋季相互協力連絡会での承合事項について

- ・資料 5 「2007 年度秋季相互協力連絡会 承合事項意見聴取結果について」参照

2007 年度秋季相互協力連絡会に提出された承合事項について、十分に意見聴取ができなかったため、2007 年 11 月 14 日から 30 日にかけてメールにて意見を募り、27 校より回答があった。

審議事項

1. 2007 年度相互協力連絡会活動まとめ・決算について

- ・資料 6 「2007 年度 相互協力連絡会活動まとめ・決算」参照

【事業】

- ①相互協力連絡会世話人会開催（年 2 回、5/31・8/29）
- ②相互協力連絡会開催（第 32 回 4/27、第 33 回 11/9）
- ③相互協力連絡会研修会開催（第 14 回 1/17 担当：大谷大学・京都産業大学）

【決算】

収入：京都地区協議会交付金 60,000 円と前年度繰越金 7,816 円

合計 67,816 円

支出：①通信費 0 円（共通閲覧証送付）

②会議・渉外費 3,196 円（会議用茶菓）

③研修会交付金 50,000 円（第 14 回研修会）

④次年度繰越金 14,620 円

合計 67,816 円

2. 2008 年度相互協力連絡会事業計画（案）ならびに予算（案）について

- ・資料 7 「2008 年度 相互協力連絡会事業計画（案）・予算（案）」参照

【事業案】

- ①相互協力連絡会世話人会開催（5～6 回）
- ②相互協力連絡会開催（第 34 回金沢工業大学、第 35 回近畿大学農学部）
- ③相互協力連絡会研修会開催（第 15 回）

【予算案】

収入：京都地区協議会交付金 60,000 円と前年度繰越金 14,620 円

合計 74,620 円

支出：①通信費 3,000 円

②会議・渉外費 10,000 円

③研修会交付金 50,000 円

④雑費 1,000 円

⑤予備費 10,620 円

合計 74,620 円

その他

1. 2008 年度 相互協力連絡会世話人館・委員館について

- ・資料 8 「2008 年度 相互協力連絡会世話人会名簿」参照

2. 2008 年度 相互協力連絡会研修会について

- ・資料 9 「相互協力連絡会研修会一覧」参照

以上

相互協力連絡会三協定参加状況（2008年4月25日現在、グループ別）

資料1

○参加館 ◎連絡会世話人館 ●委員館

	機 関 名	共通閲覧証協定	相互貸借協定	資料分担保存協定	
		委員館2館	委員館3館	委員館2館	
北陸グループ (9大学)	福井工業大学図書館	○	○		1
	北陸大学ライブラリーセンター	○	○		2
	北陸大学ライブラリーセンター薬学部分館	○	○		
	金沢学院大学図書館 ◎	○	○	●	3
	金沢星稜大学図書館	○	○		4
	金沢工業大学ライブラリーセンター	○	○	○	5
	高岡法科大学図書館	○	○		6
	富山国際大学図書館	○	○		7
	金城大学図書館	○	○		8
仁愛大学附属図書館	○	○		9	
奈良グループ (6大学)	近畿大学農学部図書館	○	○		10
	奈良大学図書館	○	○	○	11
	奈良産業大学図書館 ◎	○	●		12
	天理大学附属天理図書館	○			13
	帝塚山大学図書館本館(東生駒キャンパス図書館)	○	○	○	14
	帝塚山大学図書館分館(学園前キャンパス図書館)	○	○		
	畿央大学図書館	○	○		15
京都Aグループ (6大学)	佛教大学図書館	○	○		16
	京都学園大学図書館	○	○		17
	京都産業大学図書館 [幹事館] ◎	○	○	○	18
	京都精華大学情報館	○	○		19
	明治国際医療大学附属図書館	○			20
	京都ノートルダム女子大学学術情報センター図書館	○	○		21
京都Bグループ (6大学)	花園大学情報センター(図書館)	○			22
	京都光華女子大学図書館	○	○		23
	京都外国語大学付属図書館	○	○		24
	京都嵯峨芸術大学附属図書館 ◎	●			25
	立命館大学図書館(衣笠図書館)	○	○	●	26
	立命館大学図書館(メディアセンター)	○	○		
	立命館大学図書館(メディアライブラリー)	○	○		
京都創成大学メディアセンター	○			27	
京都Cグループ (7大学)	びわこ成蹊スポーツ大学図書館	○	○		28
	同志社大学総合情報センター ◎	○	●		29
	同志社大学総合情報センターラーネット記念図書館	○	○		
	同志社女子大学図書・情報センター(今出川図書館)	○	○	○	30
	同志社女子大学図書・情報センター(京田辺図書館)	○	○	○	
	京都文教大学図書館	○	○		31
	長浜バイオ大学図書情報センター	○	○		32
	大谷大学図書館	●			33
種智院大学図書館・学術情報センター	○		○	34	
京都Dグループ (7大学)	京都女子大学図書館	○	○	○	35
	京都橘大学図書館	○	○	○	36
	京都薬科大学図書館	○			37
	京都造形芸術大学芸術文化情報センター	○	●		38
	成安造形大学附属図書館	○	○		39
	龍谷大学学術情報センター大宮図書館	○	○	○	40
	龍谷大学学術情報センター深草図書館	○	○		
龍谷大学学術情報センター瀬田図書館	○	○			
聖泉大学図書館	○	○		41	

相互協力連絡会世話人館・委員館のローテーション表

資料2

2008/4/25

年度	世話人館								三協定委員館			
	北陸地区	奈良地区	京都地区						共通閲覧証協定	相互貸借協定	資料分担保存協定	
			Aグループ		Bグループ		Cグループ	Dグループ				京都地区
1993			京都産業		光華女子	立命館	同志社女子		(龍谷大宮)			
1994			↓		↓	↓	↓		↓			
1995		帝塚山	京都学園		↓	(立命館)	↓					
1996		↓	↓		↓	↓	↓					
1997		↓	(京都学園)	ノートルダム	京都外大			京都女子				
1998		↓	↓	↓	↓			↓				
1999		奈良産業		↓	↓			(京都女子)	龍谷瀬田			
2000		↓		↓	↓			↓	↓			
2001	北陸大	奈良大					京都文教	京都女子	(龍谷瀬田)	佛教大	ノートルダム	帝塚山
2002	↓	↓					↓	↓	↓	↓	↓	↓
2003	↓	↓	(佛教大)		花園大		↓			京都学園	立命館	同志社女子
2004	↓	↓	↓		↓		↓			↓	↓	↓
2005	金沢学院	奈良産業	↓		↓		同志社大			京都橘	京都産業	立命館
2006	↓	↓	↓		↓		↓			↓	↓	↓
2007	↓	↓	(京都産業)		京都嵯峨		↓			大谷大	京都造形	↓
2008	↓	↓	↓		↓		↓			↓	↓	↓
2009	北1	奈1	↓		↓			D1		B2	C1	D2
2010	↓	↓	↓		↓			↓		↓	↓	↓
2011	↓	↓			B3		C2	↓		A2	B4	C3
2012	↓	↓			↓		↓	↓		↓	↓	↓

()は幹事館を示す。

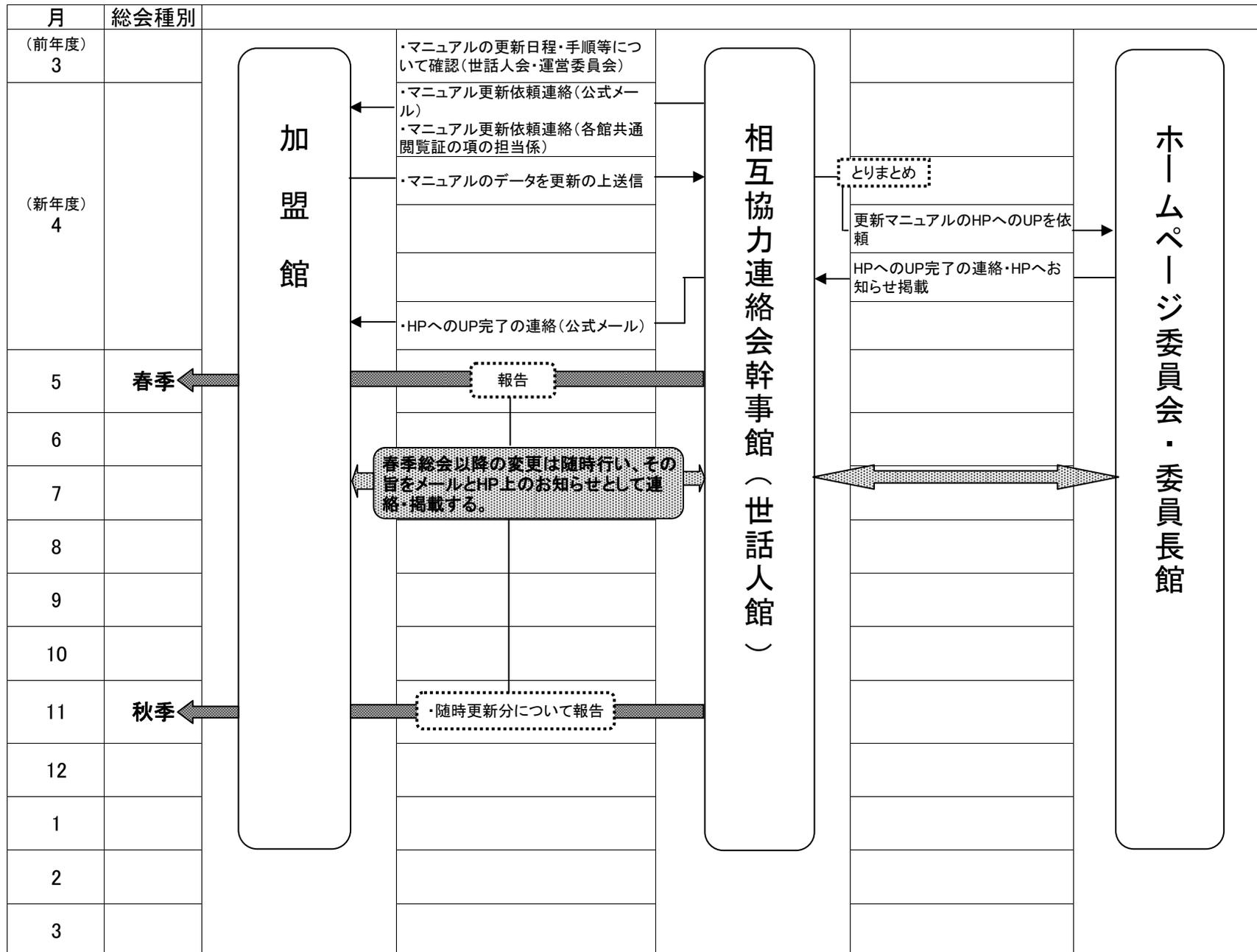
幹事館及び世話人館・委員館の選出にかかる申し合わせ事項(2001年度より実施)

- 1 世話人館は京都地区A～Dグループより3館、奈良グループより1館、北陸グループより1館選出
- 2 京都地区選出の世話人館より幹事館を選出
- 3 世話人館選出の京都地区はA～Dグループの持ち回りとする。委員館も京都地区の持ち回りとする
- 4 世話人館はいずれかの協定の委員館を兼務することを原則とする
- 5 世話人館の選出は各グループに一任する
- 6 世話人館は重任し、2期4年を原則とする

2000年度秋季相互協力連絡会(第19回)議事録より

相互協力利用マニュアル更新の流れ

資料3



(2006年度秋季相互協力連絡会にて承認)

(2007 年度春季相互協力連絡会資料より)

2007 年 4 月 27 日

資料分担保存リストのホームページへの掲載について(ご報告)

相互協力連絡会世話人会
資料分担保存協定委員館
立命館大学図書館
金沢学院大学図書館

以下のとおり、資料分担保存リストを掲載いたしました。相互協力連絡会の各館におきましては、引き続きご協力いただきますようお願い申し上げます。

1. 資料分担保存リスト(2006年12月調査)のホームページへの掲載

(1) 資料分担保存リスト(誌名・紙名順)(◎資料分担保存協定館 ○協力館)

①国内雑誌リスト、②外国雑誌リスト、③国内新聞リスト、④外国新聞リスト

(2) 資料分担保存協定参加館(11校)協力館(16校)計27校で運用を開始します。

※協定参加館・協力館のみならず京都地区協議会相互協力連絡会の各館においては、欠号の補充や相互利用にご協力をお願いします。

(3) ホームページ掲載場所

相互協力連絡会 ⇒ 資料分担保存協定 ⇒ 「資料分担保存リスト」

2. 資料分担保存リストの今後の運用

毎年度春季相互協力連絡会において、資料分担保存リストのデータ更新、削除の確認、および新規参加の呼びかけを行います。

3. 担当・連絡先

資料分担保存協定委員館が「資料分担保存リスト」の管理にあたります。掲載リストに中止、修正があれば、下記の委員館まで連絡をお願いします。

資料分担保存協定委員館【2007～2008】

- ・金沢学院大学図書館
- ・立命館大学図書館

以上

2007年度秋季相互協力連絡会 承合事項意見聴取結果について

聴取目的：2007年度秋季相互協力連絡会（第33回）に提出された承合事項について、十分に意見聴取ができなかったため

聴取方法：京都地区協議会メーリングリストにて問い合わせ、幹事館にメールで回答

実施日：2007年11月14日（水）～30日（金）

回答数：27校

質問内容

1. 貴学では貴学の非常勤講師は図書館相互協力サービスにおいて、「所属機関の構成員」と認めて、現物貸借、所蔵確認・図書館紹介、文献複写サービス対象者として取り扱っておられますか？
2. 他の高等教育機関からの非常勤講師は図書館相互協力サービスにおいて、どのように取り扱われておられますか？

質問1への回答

サービス対象とする（専任同様）	16
サービス対象とする（有料サービスは自己負担）	4
館長の許可により、専任同様のサービス	1
利用規程により、専任同様のサービス	1
申請により、専任同様のサービス	1
他に本務校がない場合に限る（申し出があった時に対応）	2
教育に支障がないよう適宜対応	1
「構成員」として認めていない（サービス内容を限定）	1
その他（複数回答分） 先方の指示に従う	2

有料サービスにおける公費での扱いなど、全く同等のサービスでない部分もあるが、概ね「所属機関の構成員」と認めてサービス対象としている。

質問2への回答

①他大学図書館からの非常勤講師の依頼を受け付けるか、と捉えた回答

サービス対象とする（区別しない、属性を問わない）	21
利用希望の前例がない（希望があれば受け付ける）	2

②本務校が他の機関である非常勤講師に対して相互協力サービスを提供するか、と捉えた回答

利用規程により、専任同様のサービス	1
本学の科目を担当する非常勤講師であれば専任と同様	1
他に本務校がない場合に限る（申し出があった時に対応）	1
教育に支障がないよう適宜対応	1

その他（複数回答分）

身分証明書があればどなたでも対応	1
一般開放しているため、登録すればすべてのサービスを提供	1
事前連絡がない場合は一般利用者として扱う	1

「他の高等教育機関からの非常勤講師」について、上記回答のとおり①他大学図書館からの非常勤講師の依頼を受け付けるか、②本務校が他の機関である非常勤講師に対して相互協力サービスを提供するか、の2点に捉え方が分かれた。

①については、他大学から複写・貸借依頼や紹介状を持参された場合は、非常勤講師であっても所属大学（依頼元）が責任を持たれていると認識し、通常の対応を行うケースが多い。

②では、自校が本務校でなくても教育上であればサービスを提供するという館が多い。

私立大学図書館協会西地区部会京都地区協議会相互協力連絡会

2007年度 相互協力連絡会活動まとめ

■2007年4月16日（月）新旧幹事館打合せ（於：京都産業大学）

- ・旧幹事館の佛教大学図書館から新幹事館の京都産業大学図書館への引継ぎを行った。

■2007年4月27日（金）春季相互協力連絡会（第32回）（於：福井工業大学）

（出席校33校45名 委任状提出校8校）

- ・長浜バイオ大学図書情報センターの「共通閲覧証協定」「相互貸借協定」への参加承認が報告された。
- ・阪神地区との相互協力について両地区で申し合わせが承認され、2007年4月1日より運用を開始したことが報告された。
- ・相互協力利用マニュアル2007年度版、資料分担保存リストのホームページへの掲載完了が報告された。
- ・2006年度活動のまとめと決算、2007年度事業計画（案）と予算（案）について審議承認された。

■2007年5月31日（木）第1回相互協力連絡会世話人会（於：京都産業大学）

- ・2007年度相互協力連絡会予算について、京都地区協議会からの交付金が2万円増額されたため、研修会交付金を5万円に増額することが承認された。
- ・第14回相互協力連絡会研修会当番校の選出、運営およびテーマについて、第2回世話人会にて決定することとし、各館で考えを持ち寄ることとした。
- ・その他、麻疹の流行に関する各館の対応状況について意見交換を行った。

■2007年8月29日（水）第2回相互協力連絡会世話人会（於：京都産業大学）

- ・第14回相互協力連絡会研修会当番校として、大谷大学（会場校）と京都産業大学を選出した。テーマは「著作権について」とし、講師を選出することとなった。講師候補として国立国会図書館の南亮一氏が挙がり、調整その他は当番校に一任された。

■2007年11月9日（金）秋季相互協力連絡会（第33回）（於：金沢星稜大学）

（出席校27校33名 委任状提出校13校）

- ・2007年度相互協力連絡会研修会（第14回）について、2008年1月17日（木）13：30～17：00に大谷大学で開催することが報告された。テーマは未定だが、著作権についての講演を中心とし、講師には国立国会図書館の南亮一氏と、千葉大学の森一郎氏を招請する。詳細は、12月はじめに加盟館に連絡する旨の説明があった。
- ・相互協力利用マニュアルについて、春季相互協力連絡会以降の修正の報告がなされた。
- ・2008年度相互協力連絡会世話人館・委員館について、「相互協力連絡会世話人館・委員館のローテーション表」に基づき、2008年度は世話人館並びに三協定委員館の変更はないことの確認がなされた。
- ・交付金増額による2007年度相互協力連絡会予算（補正案）について、20,000円の増額分については全てを研修会交付金にあてることが承認された。
- ・承合事項として、佛教大学より「非常勤講師への図書館サービス」に関し、図書館相互利用サービスにおいて「所属機関の構成員」と認め、サービス対象者として取り扱っているかということと、他の高等教育機関の非常勤講師に対しての相互利用サービスの取り扱いについて加盟館での対応について、質問がなされた。十分に意見聴取ができなかったため、後日、メールにて意見を募り、幹事館がとりまとめることとなった。

■2008年1月17日（金）第14回相互協力連絡会研修会（於：大谷大学 講堂）（95名参加）

* テーマ「大学図書館における相互利用サービスに関する著作権」

- ・ 講演1 「大学図書館における相互利用サービスに関する著作権」
千葉大学附属図書館 学術情報課学術情報構築グループ専門職員 森 一郎 氏
- ・ 講演2 「図書館における著作権問題の今日的状況と課題」
国立国会図書館 調査及び立法考査局国会レファレンス課課長補佐 南 亮一 氏
- ・ アンケート集計報告
京都産業大学図書館 中上 ゆかり

第10回相互協力連絡会研修会において立命館大学より報告されたアンケート結果と比較し、その後の動きを把握するため、また、電子ジャーナルの文献複写について、各館の対応状況を確認するため、アンケート調査を行った結果と現状分析について報告がなされた。

以上

相互協力連絡会決算書

2007年度決算

自：2007年4月1日 ～ 至：2008年3月31日

< 収 入 >				< 支 出 >				(単位：円)	
科 目	予算額 (A)	決算額 (B)	差異 (A-B)	備 考	科 目	予算額 (C)	決算額 (D)	差異 (C-D)	備 考
前年度繰越金	7,816	7,816	0		通 信 費	3,000	0	3,000	
協議会交付金	60,000	60,000	0	京都地区協議会より	印 刷 費	0	0	0	
雑 収 入	0	0	0		会 議 費	10,000	3,196	6,804	
					研 修 会 交 付 金	50,000	50,000	0	第14回大谷大学 京都産業大学
					雑 費	1,000	0	1,000	
					予 備 費	3,816	0	3,816	
					次年度繰越金	0	14,620	△ 14,620	
合 計	67,816	67,816	0		合 計	67,816	67,816	0	

2008年度 相互協力連絡会事業計画（案）

2008年	4月	15日（火）	相互協力連絡会世話人会（於：京都産業大学）
2008年	4月	25日（金）	春季第34回相互協力連絡会（於：金沢工業大学）
2008年	5月	日（ ）	相互協力連絡会世話人会（於：京都産業大学）
2008年	8月	日（ ）	相互協力連絡会世話人会（於：京都産業大学）
2008年	10月	日（ ）	相互協力連絡会世話人会（於：京都産業大学）
2008年	11月	日（ ）	秋季第35回相互協力連絡会（於：近畿大学農学部）
2009年	1月	日（ ）	相互協力連絡会世話人会（於：京都産業大学）
2009年	1月	日（ ）	第15回相互協力連絡会研修会（未定）
2009年	3月	日（ ）	相互協力連絡会世話人会（於：京都産業大学）

2008年度予算（案）

自 2008年4月1日 ～ 至 2009年3月31日

< 収 入 >

< 支 出 >

(単位：円)

科目	予算額(A)	決算額(B)	差異(A-B)	備考	科目	予算額(C)	決算額(D)	差異(C-D)	備考
前年度繰越金	14,620				通信費	3,000			
協議会 交付金	60,000			京都地区 協議会より	印刷費	0			
雑収入	0				会 議 渉外費	10,000			
					研修会 交付金	50,000			第15回 担当校へ
					雑費	1,000			
					予備費	10,620			
					次年度 繰越金	0			
合 計	74,620				合 計	74,620			

2008年度 京都地区協議会相互協力連絡会世話人会(世話人館および委員館)名簿

2008年4月1日現在

	大学名	電話番号	FAX番号	氏名		メールアドレス	世話人館	委員館
	金沢学院大学 図書館	076-229-8878	076-229-1426	若林佳代子		tosho@kanazawa-gu.ac.jp	※	資料分担
	同志社大学 総合情報センター	075-251-3980	075-251-3129	深川 晃而	情報サービス課長	kfukagaw@mail.doshisha.ac.jp	※	相互貸借
	奈良産業大学 図書館	0745-73-6199	0745-72-0822	松尾 健	事務室長	library@nara-su.ac.jp	※	相互貸借
	立命館大学 図書館	075-465-8216	075-465-8252	村山喜代美		info-lib@st.ritsumeai.ac.jp		資料分担
	大谷大学 図書館	075-411-8123	075-411-8152	深堀 俊子		fukahori@sec.otani.ac.jp		共通閲覧
	京都嵯峨芸術大学 附属図書館	075-864-7875	075-881-0034	淀川 裕美	課長	yodogawa@kyoto-saga.ac.jp	※	共通閲覧
	京都造形芸術大学 芸術文化情報センター	075-791-8134	075-791-3318	引原 直美	課長	hikihara@office.kyoto-art.ac.jp		相互貸借
	京都産業大学 図書館	075-705-1446	075-705-1447	澤熊 智美	課長	kuma@star.kyoto-su.ac.jp	※(幹事館)	-----
天笠 洋一				課長補佐	amagasa@star.kyoto-su.ac.jp			

相互協力連絡会研修会一覧

開催No	開催年度	開催大学	開催日	開催内容	備考
1回	1994年度	京都産業大学	1994.11.28	①文献複写に関する諸問題 ②ILLの参加について	
2回	1995年度	同志社女子大学	1995. 9. 29	①相互協力実態調査集計結果報告 ②文献複写に関する実態調査集計結果報告 ③複写依頼の諸問題について	アンケート調査報告
3回	1996年度	立命館大学	1996. 12. 5	①共通閲覧証の利用による閲覧の現状と今後の課題②所蔵調査依頼・確認紹介状発行手続 ③相互利用業務に関する意見交換	・前年度アンケート調査結果をもとに 研修実施 ・実務担当者の交流・懇談実施
4回	1997年度	京都女子大学	1997. 12. 4	①相互利用サービスの発展に向けて -学生証提示による図書館利用- ②電子図書館「Ariadne」について 概要ビデオと講演	
5回	1998年度	京都学園大学	1998. 12. 3	大阪府立中央図書館見学会	
6回	1999年度	京都女子大学 ※当番校は帝塚山大学	1999. 12. 1	「京都地区協議会相互協力連絡会諸協定について」	事例報告
7回	2000年度	龍谷大学	2000. 12. 8	文献複写料金の支払方法、料金相殺制度等の事項について、運用の実用化に向けての事例 発表と実務担当者の話し合いを行なった。	①メーリングリスト運用内規 ②佛教大学図書館における相互協力 ③文献複写電子メール受付サービス
8回	2001年度	佛教大学	2002. 1. 11	「共同デジタル・レファレンス・サービス」	事例報告
9回	2002年度	ノートルダム女子大学	2002. 12. 4	「相互協力の現状:阪神地区での実践」	事例報告
10回	2003年度	立命館大学	2004. 1. 13	「大学図書館における文献複写サービスと著作権」	事例報告 講演: 京都大学附属図書館 情報管理課長 森生也氏
11回	2004年度	京都文教大学 奈良大学	2005. 1. 18	「ILL文献複写等料金相殺サービスが大学図書館にもたらしたもの」	①相互協力連絡会活動報告 ②アンケート調査報告(奈良大 奥野氏) ③文献複写電子メール受付サービス
12回	2005年度	花園大学 佛教大学	2006. 1. 19	「大学図書館間の相互協力基盤の現状と課題」	・講演 国立情報学研究所 茂田木 理子 ・アンケート調査報告 ・NACSIS-CAT/ILLを核とした今後の相互協力について
13回	2006年度	京都産業大学 同志社大学	2007.1.12	「大学図書館における地域連携を検証する - 京都地区協議会と大学コンソーシアム京都の共通閲覧制度を中心に -」	・相互協力連絡会活動報告 ・事例報告 ・アンケート集計報告
14回	2007年度	大谷大学 京都産業大学	2008.1.17	「大学図書館における相互利用サービスに関する著作権」	・事例報告 ・アンケート集計報告